

村山総合支庁ニュース

—MuraSou News—

第195号 令和2年2月号 山形県村山総合支庁

知事と若者の地域創生ミーティングin河北&寒河江



in河北

「知事と若者の地域創生ミーティング」が令和元年12月18日（水）に河北町の「どんがホール」、令和2年1月8日（水）に寒河江市の「寒河江市立図書館」で開催されました。河北町では地元の高中生や農業、事業経営、青年団等で活躍されている方など10名が参加し、吉村知事、森谷河北町長と対談しました。参加者からは、人口減少対策として地域創造青年会議を立ち上げ若者同士の交流を図る活動を頑張っているなどの発言や、町内にファミレス等高校生や子育て世代の母親が気軽に集える場が欲しいなどの意見がありました。また、寒河江市では地元の高中生や農業、事業経営、子育てサークル等で活躍されている方など10名が参加し、吉村

知事、佐藤寒河江市長と対談しました。市特産のサクランボの栽培については高齢生産者がやめることで生産量が減る不安があるが、最近は若い生産者が栽培に熱心であるなどの発言や、小さな子どもを育てる母親が話を聞いてもらえる場が欲しいなどの意見がありました。知事からは参加者に対して、「今回の縁、集まりをぜひ大切にしてください。若者や子育てをしている方が集まる場があればまちづくりに結び付く。今後もコミュニケーションをとり、市町を発展させてほしい。」との応援があり、和やかな雰囲気の中、両ミーティングは閉幕となりました。
(総務課 TEL:023-621-8355)



in寒河江

国民保護図上訓練



山形県では、県及び市町村の国民保護等の対処・措置能力の向上と、国をはじめとする関係機関との連携体制の強化を目的に、毎年度、国民保護共同図上訓練を実施しています。今年度は令和2年1月16日（木）に県と山形市などで合同訓練を行い、村山総合支庁本庁舎も訓練会場の一つとなりました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、ホストタウン登録地の山形市で連続爆破テロが発生したとの想定の下訓練が始まり、発生第1報を受け緊迫した状況の中、

松田支庁長が緊急事態対応として担当者を招集し刻々と変化する状況に合わせ、対応を指示しました。さらに、県から山形市役所に職員を派遣し情報収集を行い、県庁への情報伝達も行いました。他にも、県民からの問合せを想定した対応や、庁舎への避難者受入れ対応の確認も併せて行いました。訓練の中では当日の振り返りも実施し、参加者からは「緊急時でも冷静に対応することが重要」、「マニュアルに頼るだけでなく、訓練により対応能力を高める必要がある」などの意見が出されました。村山総合支庁では、今回の訓練を活かし緊急時には全力で国民保護対応に努めてまいります。
(総務課防災安全室 TEL:023-621-8234)



シリーズ ～地域の課題と取組み～

西村山で学ぶ高校生に対するふるさと教育の支援

村山総合支庁西村山地域振興局と管内市町（寒河江市、河北町、大江町、朝日町、西川町）で組織する「西村山地域広域連携協議会」では、進学や就職に伴う「人口の社会減」対策として、西村山地域で学ぶ高校生に対して地元の良さを知ってもらうことを目的に、「ふるさとを語れるようになろうプロジェクト」を実施しています。具体的には、西村山で生産される農産物の歴史や年間作業の概要、歴史文化（最上川舟運・日本遺産）、企業（製造業の沿革や事業内容）などについてプレゼンソフトで教材を作成しています。それを活用し、地元の理解を深めて郷土愛を育ててもらおうとともに、将来のUターンの動機付けや、ふるさと自慢ができるようになってもらうことがねらいです。今年度は谷地高校や左沢高校に地元農家の方を外部講師として派遣したり、西村山地域振興局連携支援室職員が教材の内容



◆プロジェクトの内容



1 教材の作成(平成30年度)

- (1) 農産物編
「さくらんぼ」「米」
「その他農産物」
- (2) 企業編
「企業概要」
「ワイン・酒・草履・スリッパ・安全靴」
- (3) 歴史文化編
「最上川舟運・日本遺産」

内容を説明するなどの支援をしております。写真は1月15日（水）に左沢高校の3年生約80名を対象に「企業編」の授業を行ったときのもので、授業で取りあげた企業に就職を予定している生徒もおり、熱心にメモを取りながら授業を受ける様子が見られました。年度末には教材の重要なポイントをまとめた冊子を西村山地域内の高校を巣立っていく生徒に配布するなど、今後もより一層西村山地域のふるさと教育の支援に取り組んでまいります。

（西村山総務課連携支援室 TEL：0237-86-8140）

村山地域医療的ケア児支援連絡会を開催しました！



疫の吸引や経管栄養などを日常的に必要とする医療的ケア児が、村山地域には70名（令和元年5月時点）在宅で暮らしています。医療的ケア児とその家族が地域で安心して生活できるよう、令和元年11月20日（水）に医療、保健、福祉、教育等の関係者約100名による連絡会を開催しました。医療的ケア児の日常生活への理解を深めてもらうため、村山地域の3家族への取材をもとにした事例紹介を行い、その後のグループワークでは必要な支援について活発な意見交換を行いました。参加者からは「多職種間の顔の見える関係づくりができた。」等の感想をいただきました。今後も、子どもの障がいの有無に関わらず、安心して子育てができる村山地域を目指し、取組みを重ねてまいります。

（保健企画課 TEL：023-627-1245）



2020北村山企業探求セミナー事業報告

村山総合支庁北村山地域振興局では、管内市町（村山市、東根市、尾花沢市、大石田町）と連携し、若者定着・回帰促進に取り組んでいます。このたび、新たな取り組みとして、村山市金融協会との共催により、1月23日（木）に村山産業高校を会場に、地元企業の魅力や就業環境の魅力伝える「2020北村山企業探求セミナー」を開催しました。当日は、1年生132名と地元の企業28社が参加し、生徒が班ごとに複数の企業ブースを訪問し、企業の担当者から説明を受けるなど、地元企業や地元で就業することについての理解を深めました。



（北村山総務課連携支援室 TEL：0237-47-8614）



シリーズ ~むらやまの若人(わこうど)たち~ Vol. 67 ~

和食のおいしさを次世代へ

山形市出身の伊藤さんは、「和食の本場で修業をして、きちんとした料理を作りたい」という思いを持ち、京都で8年間の修行の後、山形市七日町に懐石料理店をオープンさせました。京料理で学んだ技法と山形の食材、器を用いた、「地元」にこだわった料理を提供しています。伊藤さんは、県内では唯一の「和食給食応援団」のメンバーです。「和食給食応援団」とは、学校給食を通じて子どもたちに和食の美味しさ、素晴らしさを伝え、次世代に和食の文化を繋ぐことを目的として、全国的に組織されている団体です。これまでに東桜学館中学校の1年生を対象に、鯖の幽庵焼きや里芋の味噌汁等の和食給食を提供した後、芋煮の歴史や赤根ホウレンソウ等の地元の伝統野菜についての講話を行いました。また、栄養教諭や学校栄養職員が対象の地元の食材の調理教室では、「取り立ての出汁はおいしい」という声が聞かれたそうです。「洋食化が進み、和食を口にすることが少なくなってきた昨今、和食が廃れていってしまうのではないか」との危機感を持つ伊藤さん。「おいしいと実感できるものは残り、次世代に繋がっていく」とも話されました。学校で子どもたちに和食を提供したり、給食の作り手に調理方法を伝えたりしながら、和食文化を繋いでいこうとしています。和食、料理に対する熱い思いが感じられました。(子ども家庭支援課 TEL:023-627-1153)



懐石料理店主・和食給食応援団メンバー 伊藤圭太郎さん

むらやま農産加工交流会



1月23日(木)、西村山地域振興局において、「むらやま農産加工交流会」を開催しました。本交流会は、村山地域の農産加工実践者を対象に、平成28年度から開催しています。今年度は、消費者が求める農産加工品へのブラッシュアップを目指し、試食求評・交流会を行いました。当日は村山管内の農産加工者等約30名が参加し、10事業者の農産加工品について、販売や商品開発等に携わる3名の評価者から試食・意見交換を通じて評価いただきました。商品パッケージやPR方法など具体的なアドバイスもあり、より売れる商品開発のために、大変勉強になったなどの声が多くありました。(農業技術普及課 TEL:023-621-8280)

「やってみよう!木育」職員出前講座



パネルシアターの様子

森林整備課では、身近に木に触れる体験を通じて、森林への理解や素材としての木の良さ、木を使うことの大切さを伝えるため、子供たちを対象に「やってみよう!木育」職員出前講座を行っています。12月26日(木)には、第3滝山こどもクラブ(山形市)で「森のペンダントづくり」の指導を行いました。子供たちは真剣な眼差しで作業に取り組み、木の輪切りに眼を付けて動物の顔にしたり、木の実でケーキのように飾り付けをするなど、各々が個性溢れるユニークな作品を作っていました。その他にも紙芝居やパネルシアターで、森林のはたらきや大切さを学び理解を深めました。森林整備課では今後もこのような取組みを続けてまいります

(森林整備課森づくり推進室 TEL:023-621-8156)



森のペンダント作りの様子

むらやま米フォーラム2020開催

1月29日(水)に、天童市において、山形おいしさ際立つ!米づくりプロジェクト村山地域本部主催で「むらやま米フォーラム2020~スマート農業技術の活用で広がる未来!~」を開催しました。はじめに、滋賀県の農業法人である(有)フクハラファーム会長の福原昭一氏より、農地の集積や圃場の大区画化を図り、大規模経営(200ha)においてスマート農業を取り入れた収益性の高い稲作経営の実現について講演がありました。また、既存のトラクタに自動操舵システムを導入する方法やその実践事例の紹介もありました。会場では、ドローンや自動操舵システムのシミュレーションの展示などもあり、参加者はICT技術を活用した省力・低コスト栽培への理解が深まりました。(農業技術普及課 TEL:023-621-8294)



インフォメーション

「婚活カフェ～わたしのイチオシの人です!～」参加者募集中!

「一対一では緊張してうちとけられない…」などの理由で婚活がうまく進まない方、あなたの周りにいませんか?そんなあなたのイチオシの人、「婚活カフェ」に連れて来てください。推薦するあなたもサポーターとして参加し、“運命の人”との出会いを応援してください。

- 参加対象: 30歳～45歳の独身男女各5名+参加者1名につき推薦者1名
- 日時: 令和2年3月8日(日)午後3時～午後6時
- 会場: 天童最上川温泉ゆびあ(天童市大字藤内新田1620-1)
- 会費: 男性2,000円・女性1,000円(推薦者分を含む)
- 申込締切: 令和2年2月28日(金)まで
- 申込み先: 子ども家庭支援課 子育て支援・若者活躍担当
☎: 023-627-1151



婚活カフェ
～わたしのイチオシの人です!～
2020 3/8(Sun)
「婚活カフェ」は、お一人様1名につき推薦者1名を募集し、お二人で参加していただくイベントです。お一人様1名につき推薦者1名を募集し、お二人で参加していただくイベントです。お一人様1名につき推薦者1名を募集し、お二人で参加していただくイベントです。

「令和元年度 河川愛護活動団体・支援企業相互交流会」を開催します!

県管理の河川におけるボランティア活動について、支援の制度やその取組みを事例をもとに紹介します。また河川管理に関する情報などをわかりやすく説明しながら、河川愛護活動が効果的かつ効率的に実施できるよう情報交換を行います。興味のある方はぜひご参加ください!!

- 参加対象: 河川愛護のボランティアやその支援制度に興味のある個人、団体、企業の方
- 日時: 2月18日(火)午後2時～午後4時
- 会場: 山形県村山総合支庁北村山地域振興局 5階講堂(村山市楯岡笛田4-5-1)
- 参加費: 無料(会場までの交通費は各自ご負担ください)
- 申込み先: 村山総合支庁河川砂防課 ☎: 023-621-8229
西村山地域振興局河川砂防課 ☎: 0237-86-8413
北村山地域振興局建設総務課 ☎: 0237-47-8654

むらやま若者よい!よい!通信VOL.2発行 ～「オールむらやま」で若者定着を応援します!!～



オールむらやま若者定着推進会議では、会議の取組みや構成42団体の活動内容などを紹介する「むらやま若者よい!よい!通信」を発行しています。この度、発行しました第2号は高校生向け特集号として、高校生とその保護者の皆さんに、村山地域の企業の魅力を伝え、地元で働くことのイメージを持っていただく内容となっております。詳しくは村山総合支庁ホームページ(http://www.pref.yamagata.jp/regional/murayama_bo/bussiness/commerce/7301041murayamatsushin.html)からご覧ください。
(地域産業経済課 TEL: 023-621-8443)

アニサキスによる食中毒を予防しましょう

アニサキスはカツオ、サバ、イカなどの魚介類に寄生している大きさ2～3cmの線虫という寄生虫です。アニサキスが寄生している魚介類を生で食べることで、胃壁などへ刺入し、数時間～十数時間後に激痛をともなう腹痛、おう吐などの症状を伴う食中毒を引き起こします。予防するには加熱(60℃・1分以上)、冷凍(-20℃・24時間以上)または調理時の目視による除去が有効です。
(生活衛生課 TEL: 023-627-1187)



アニサキス

■発行元■
村山総合支庁総務企画部
総務課総務係担当
Tel. 023-621-8105
Fax. 023-624-3056

がんばれ!モンテディオ
来期もJ1めざして
突き進め!

村山総合支庁ニュースは、山形県のホームページからもご覧いただけます。
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301001/murayamanews.html>

